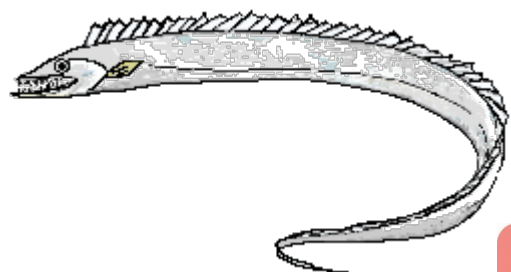


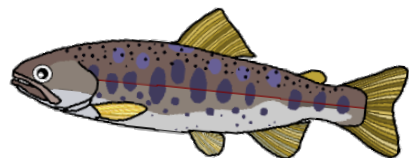
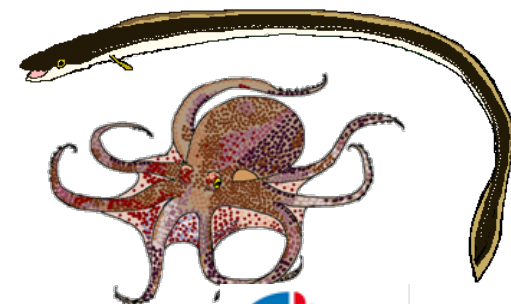
STRATEGY



商品情報



2026年6月号



株式会社うおいち (OUGグループ)

販促営業広報課 発行

URL : <https://www.uoichi.co.jp/>

〒553-8555

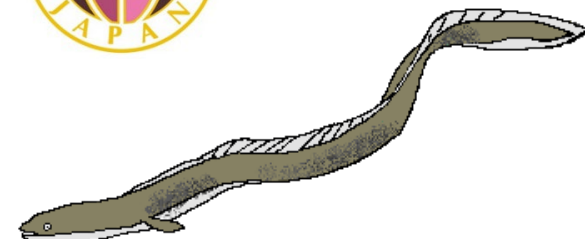
大阪市福島区野田1丁目1-86 大阪市中央卸売市場内

TEL 06-6469-2051 FAX 06-6469-2169

E-mail: kouhou@uoichi.co.jp



ホームページ会員募集中!



2026年6月カレンダー

1日	月	大型 旋網休 漁	大潮	衣替え 気象記念日 鮎の日
2日	火		中潮	カレーの日 甘露煮の日
3日	水		中潮	市場休場日 もろみみその日 (～7日 さかなの日)
4日	木		中潮	葉と口の健康週間
5日	金		小潮	世界環境デー
6日	土		小潮	芒種 梅・らっきょうの日 ローカロリーな食生活の日
7日	日		小潮	世界食の安全デー
8日	月		長潮	ガパオの日
9日	火		若潮	岩牡蠣の日 ロックアイスの日
10日	水		中潮	市場休場日 時の記念日 (イカの日)
11日	木		中潮	入梅 FIFAワールドカップ開催
12日	金		中潮	恋人の日
13日	土		大潮	いいみょうがの日
14日	日		大潮	大阪住吉大社御田植神事
15日	月		大潮	生姜の日 枝豆の日 (新月●)
16日	火		大潮	和菓子の日
17日	水		大潮	市場休場日
18日	木		中潮	おにぎりの日 (ホタテの日)
19日	金		中潮	(食育の日)
20日	土		中潮	世界難民の日 ペパーミントの日
21日	日		小潮	夏至 父の日 モンブランの日
22日	月		小潮	DHAの日 カニの日
23日	火		小潮	沖縄慰霊の日
24日	水		長潮	市場休場日
25日	木		若潮	
26日	金	大型 旋網休 漁期間	中潮	露天風呂の日
27日	土		中潮	ちらし寿司の日
28日	日		中潮	貿易記念日
29日	月		大潮	佃煮の日
30日	火		大潮	夏越の祓 (満月○)

()は毎月ある記念日

6月 水無月(みなづき)

アユ漁の解禁とともに6月が始まり、爽やかな気候から蒸し暑さを感じる季節になります。

6月11日は入梅となり、暦上の梅雨入りですので、気象庁発表の「梅雨入り宣言」とは前後するかもしれませんが、古来より田植えの時期や雨具の準備などの行動指標となった重要な時節でした。蒸し暑い日々のイメージですが、梅雨は山のミネラルが海に流れ込むため農業は勿論、漁業にとっても恵みの雨となります。ハモは、「梅雨の水を吸って美味しくなる」と言われ、産卵に向けて体力をつけるために餌をたくさん食べた個体が市場に入荷し関西の風物詩となっています。また、イワシやイサキも梅雨時期に美味しくなります。



6月15日は父の日です。刺身盛合せや手巻き寿司、海鮮丼等の手間のかからないごちそうかつヘルシーなメニュー提案はいかがでしょうか。

梅雨の前後は季節の変わり目にあたるシーズンですので、日々生活しているだけでも心と体に負荷がかかりやすい時期です。梅雨時期は低気圧が長く続くことで自律神経のバランスが崩れ、頭痛やめまい・倦怠感・不眠などの症状が出やすくなります。また湿度が高いと汗をかいても気付きにくく、脱水状態になり易いとも言われています。体力の消耗や食欲減退等で体調を崩しやすくなりますので、イワシやアジを使った「なめろう」やさっぱりと食べられるサバやアジの「冷や汁」、「イワシの梅煮」、アジやハモの「南蛮漬」などで食欲を増すレシピ提案や体を温めるマダイなどのアラを使った「生姜スープ」の提案はいかがでしょうか。



普段の生活では、室内での軽いストレッチや深呼吸・ヨガなど体をゆっくり休めながら心身のリラックスを促し、たまの梅雨の晴れ間には散歩に出かけたり、しとしと降る雨の中を傘をさしてのんびりと雨を楽しんだり、息抜きの時間も是非作ってくださいね！



FIFA ワールドカップで寝不足な日々が続きますが、熱き心を胸に応援しましょう！ 

鮮魚取扱量指数(本場取扱2025年4月～2025年6月) うおいち大阪本場の資料を基に作成しています。

6月の取扱量の多い順にならんでいます。

鮮魚	5月	6月	7月
養殖マダイ	100	86	91
マアジ	100	126	102
マサバ	100	89	74
カツオ	100	58	70
マイワシ	100	78	81
ブリ	100	114	78
スルメイカ	100	130	93
養殖アトランサーモン	100	101	83
マルアジ	100	80	102
イサギ	100	136	90
サワラ	100	50	60
ハマチ	100	64	108
ゴマサバ	100	130	203
養殖銀鮭	100	114	77
カンパチ	100	102	92
活マダイ	100	86	111
活けハモ	100	169	213
タラスキンレス	100	88	63
養殖ブリ	100	83	85
養殖ブリフィーレ	100	84	84
ヒラメ	100	186	138

鮮魚	5月	6月	7月
養殖ヒラメ	100	106	120
ハモ	100	196	271
養殖アトランサーモンF	100	93	79
コアジ	100	68	44
ヨコワ	100	74	39
キンメダイ	100	142	116
エテガレイ	100	89	61
ヒラス	100	45	38
タチウオ	100	114	146
サゴシ	100	69	42
シマアジ	100	90	90
養殖ハマチ	100	95	98
ヤリイカ	100	138	183
マガレイ	100	1,010	218
マダイ	100	80	64
解凍サンマ	100	156	212
ヒイカ	100	278	1,102
メバル	100	114	25
ミズガレイ	100	197	27
養殖アワビ	100	82	87
タラフィーレ	100	109	85

特殊物	5月	6月	7月
ハマグリ	100	73	69
アサリ	100	88	65
養殖アユ	100	94	128
バイガイ	100	110	127
シジミ	100	88	146
ボイルワカメ	100	84	82
ホタテ柱	100	113	91
サザエ	100	75	78
ツブガイ	100	89	66
養殖ウナギ	100	128	270

太物	5月	6月	7月
ホンマグロ	100	185	86
養殖ホンマグロ	100	89	91
冷凍キハダ	100	99	81
キハダ	100	102	107
冷凍メバチ	100	93	93
冷凍養殖クロマグロ	100	101	86
冷凍インドマグロ	100	116	113
インドマグロ	100	209	617
冷凍トンボマグロ	100	50	37



目次

1. カレンダーとお魚暦
2. 鮮魚指数
3. メーカー・行政様の販促コーナー
4. 「鮮魚」「塩干」「冷凍」の商品情報

※うおいち大阪本場のデータを基にしています

登録方法

うおいちHPにアクセス
↓
会員様ページにて
無料メールマガジンに登録
↓
商品情報ページ



年間**2万アクセス**以上

詳細

- ◆ 月刊発行 月初めに更新
- ◆ 完全無料・会員型データサービス
- ◆ 会員様数 約2,000人
- ◆ 閲覧者様

外食・中食・小売業・メーカー・商社・
学校・仲卸・漁連・生産者様など

現場の生の声を取材!

創業78年 西日本最大の大阪市中央卸売市場

株式会社うおいち 地球にやさしく、身体にやさしく、心にやさしく

情報のご紹介・ご活用方法

- ✓ 一月先の情報を得れる
- ✓ 相場・入荷
 - 例) 相場・入荷から代替品や商品の原価調整の提案が出来ます。
サンマ 今期は漁場が遠く、ピークも10~11月にずれ込み販売に苦戦。
タラ 今年の水揚げが好調で価格も取扱いやすい。
- ✓ 旬・食べ方・販促方法
 - 例) 季節に合わせたレシピ提案・関連商品が分かります。
3月8日はサバの日 ~サバのアラビアータ風煮~
- ✓ 川下から川上までの状況
- ✓ 現状から予測
 - 例) 現場という視点で、今後の漁獲量や売れ行き予測をしています。
- ✓ 商品の展開・陳列方法
- ✓ 会議・商談の資料として活用



〈問い合わせ〉
担当者 うおいち 販促営業広報課
TEL: 06-6469-2051
Mail: kouhou@uoichi.co.jp



販促コーナー 参加者募集



あなたも情報発信してみませんか！

メリット

- ✓ さまざまな層の閲覧者(取引先)を獲得できる
- ✓ 購買行動を促しやすい
- ✓ 新しいマーケティングの場を取得できる

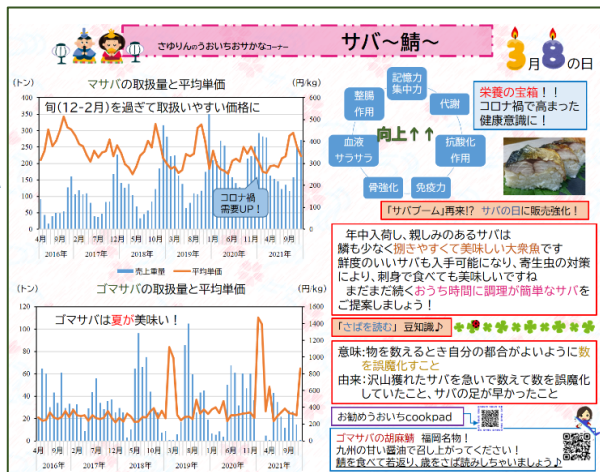
多くの企業・行政様とコラボ中！

記事の参考例

- ✓ 今季お勧めしたい商品・新商品紹介
例)商品・規格・末端売価など商品の紹介のみでもOK！
- ✓ 商品と絡めたレシピ提案
- ✓ 今季の自社の方向性
- ✓ 考え方・展開事業・取り組み
例)SDGs・環境・認証ラベルなど
- ✓ ご当地・国産国消

資料イメージ

旬の魚介類紹介



グラフを用いる

豆知識

関連HP

詳細

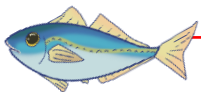
- 費用 無料
- 規格 A4横
- 資料数 1-3枚まで
- 回数 一月から毎月(1.2月合併号)
- 必要情報 企業・団体名
- 必要内容 水産物関連・掲載月関連

情報共有の場を
広めましょう！

掲載までの流れ

- ↓ 担当者(宮崎)までご連絡下さい
- 掲載内容の要相談
- 締め切り 月末25日
- 翌月に掲載





この時期だけのおいしさ！

「あじ」をたのしむ

kewpie 

展開期間

6月

展開売場

エンド

精肉

日配

青果

鮮魚

定番

企画主旨

「あじ」は通年入手することができますが、旬は春から夏にかけてといわれています。和洋問わず、いろいろな料理に活用できる便利な魚です。

旬のあじをたっぷりたのしめるメニューを提案し、鮮魚売場の盛り上げ、消費拡大と販売点数増に貢献します。

御社メリット

- 旬魚の打ち出しで、鮮魚売場の活性化に貢献します。
- かんたんに調理できるメニューの訴求で、鮮魚の喫食率アップに貢献できます。

お客様メリット

- あじを使ったメニューのレパートリーが増やせます。
- 刺身やフライなどを活用することでかんたんに調理できます。

提案メニュー



あじのレモタルサンド



キューピー 具だくさんレモタルタル



キューピー Italianteバジルソース



あじの洋風なめろう

提案背景

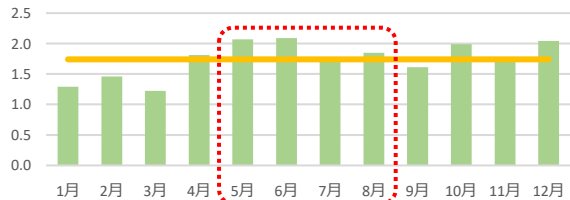
この時期だけのおいしさ！
あじ



年間を通して流通する「あじ」ですが、最もおいしく食べられるのは脂味がり、旨味がぎゅっと詰まる晩春から初夏にかけてです。良質なたんぱく質やカルシウム、ビタミン、DHAやEPAなどがバランスよく含まれているため、健康にもうれしい食材です。

■ あじ食卓出現頻度 指数

あじは、脂がのって旨味強い春から夏に食卓登場頻度が増えます。



出典：食MAP 2025年1月～2025年12月
資料：キューピー㈱が「食MAP」を利用して算出

- X、ブログ等での反応「あじメニュー」
- ・ 家族が大好き「あじフライ」
- ・ 和洋を問わない万能食材
- ・ 下処理済活用で時短

出典：投稿内容をAIにより要約

■ あじの1世帯当たり年間支出金額の推移

2025年の購入頻度と年間支出額の前年比

購入頻度

103,7%

支出金額

106.5%

あじの購入頻度、支出金額ともに前年を上回っています

出典：総務省「家計調査」注：対象は二人以上の世帯

POPイメージ





・ kewpie 

おいしい×サステナ=いい未来

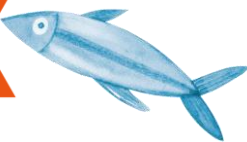
さかなの日

旬の「やさしい」と「さかな」を
つけた

やさかな



レソピ



あじの

洋風なめろう





おいしい×サステナ=いい未来

さかなの日

• kewpie 

旬の「やさしい」と「さかな」を
つけた

やさかな



レシピ



あじの

レモタルサンド



145g

半夏生に
たこで1品!



おすすめポイント

- 作物の豊作を祈って半夏生に食べるタコを炊き込みご飯に!
- タコのきれいなピンク色が映える仕上がりになります。

三杯酢

素材の味と色を生かす淡口しょうゆをベースに、酸味まろやかな玄米黒酢とコクのある黒みりん、うま味たっぷりの昆布だしを合わせた、やさしい味わいの三杯酢です。



材料(2人分)

たこ(ゆで)	50g
きゅうり	1本
塩	適量
三杯酢	40ml

作り方

- ①たこは薄いそぎ切りにする。きゅうりは小口切りにし、塩もみして水けを絞る、さっと洗ってもう一度よく水けを絞る。
- ②ボウルに1を入れ、三杯酢を加えてあえる。お好みで針しょうがをのせてください。

あじの南蛮漬け

初夏に
さっぱりと！



おすすめポイント

- 風味豊かなだし酢にカラリと揚げた旬のあじを漬け込みました。
- 京風割烹白だしのうま味で酢カドのないまろやかな味わいに！

京風割烹白だし 400mlPET

- ① 京都の料亭でも使われる「まぐろ節」を使用し、上品でまろやかな味わいに仕上げた白だしつゆです。
- ② 「だしを生かす」「色を抑えた」2種類の淡口醤油を使用。
- ③ 薄めるだけで煮物・吸い物・だし巻き玉子等、だし風味のきいた淡色料理がこれ一本で簡単に作れます。



材料(4人分)

小あじ	12尾(1尾30g)
パプリカ	2個
玉ねぎ	1個
片栗粉・揚げ油	適宜
【A】	
京風割烹白だし	80ml
酢	120ml
水	40ml
砂糖	40g

作り方

- 1) きゅうりあじは下処理をする。パプリカと玉ねぎは細切りにする。
(素揚げする場合は太めに切る。)
- 2) バットかボウルに【A】を合わせておく。
- 3) パプリカと玉ねぎをフライパンで軽くから炒りするか、素揚げにする。
- 4) 揚げ油を中温(170℃)に熱し、あじに片栗粉を薄くまぶして入れ、
ゆっくりカリッと揚げる。
- 5) 揚げたものから3)と一緒に【A】に20分ほど漬け込む。

かつおの生姜漬け丼

marukome

使用商品・・・プラス糀生しょうゆ糀200g



生姜の爽やかな香りと辛味がポイント。
かつおに醤油糀がからみ、ねっとりと仕上がります。

材料（2人分）

具材	分量	調味料	分量
・かつお	100g	・生しょうゆ糀	
・おろし生姜	大1/2片		大さじ2強
・青じそ	適量		
・みょうが	適量		
・万能ねぎ	適量		
・酢飯	2杯分		

【作り方】

- ①かつおは5mm厚さの薄切りにし、「生しょうゆ糀」とおろし生姜を加えて和えておく。
- ②小丼に酢飯、またはごはんをよそい、その上に薬味と[1]のかつおを彩りよく盛り付ける。

生姜の爽やかな香りと辛味がポイント。
かつおに醤油糀がからみ、ねっとりと仕上がります。



🕒 調理時間	15分	🔥 カロリー	355kcal
🥄 塩分	0.8g	📦 糖質	59.1g
🌿 食物繊維	0.8g		

※カロリー、塩分、食物繊維、糖質は1人分です。



まぐろと たまご 醤油 で



たまごかけ
ごはん のような

食感

まぐろ納豆
手巻き寿司



アレンジいろいろ 麺メニュー

まぐろのやまかけそうめん



- 材料 (2人分)
- そうめん (乾) 4束
 - まぐろ 100g
 - 長いも 100g
 - 万能ねぎ 適量
 - ミツカン 追いつお®つゆ2倍、水
...各3/4カップ

● 作り方

- [1] そうめん(乾)はたっぷりの湯でゆでて冷水でもみ洗いする。
- [2] 「追いつおつゆ2倍」を冷水で薄める。
- [3] まぐろを5mm厚さ程度に切る。長いもはすりおろす。
- [4] 器にそうめんを盛り付け、上に[3]をのせ、[2]をかける。小口切りした万能ねぎを散らす。

6月はおつまみアイテムを強化！！

～夏前の仕掛け～

●企画主旨

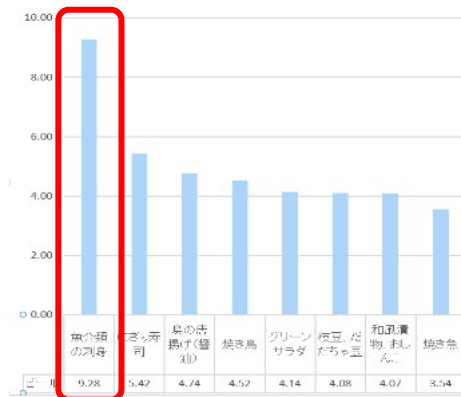
6月は父の日の催事もあり、お酒の需要が高まります。コロナ禍の影響もあり、家呑みも増加しており、アルコールの最需要期の夏前におつまみメニューを提案しましょう！

ビールのお供は刺身が一番！

中食時における、「アルコール飲料」との食べ合わせメニュー（「アルコール」種別別）
※出典：食研「中食時における「アルコール飲料」との食べ合わせメニュー」
※出典：食研「中食時における「アルコール飲料」との食べ合わせメニュー」

※ビール

※出現率(%)：食研会中食時においてビールを飲用中に、メニューの出現した割合



n = 241

鮮魚類を購入する際の決定理由



1位 鮮度

51%



2位 価格

49%



3位 手軽さ

31%

※2024年（令和6年度）水産物消費動向調査
水産物を中心とした消費に関する調査より
※複数回答あり

●結論

鮮度をだしつつ、値ごろ感を演出できるカップデリを訴求

アイテム例



あじ南蛮
(本体価格：298円)



あじ 南蛮漬 R

解凍後、取り分けるだけ。

爽やかな酸味と程よい甘味の特製だれですっきりと味わい深く仕上げました。



ガーリックシュリンプ
(本体価格：298円)



海鮮白だし漬
(本体価格：298円)



オリーブガーリック
ソテーオイル 700g

オリーブオイルやガーリックの風味が、魚介類に良く合い、明るいたれとガーリックチップが素材を引き立てます。



食研白だし 1L

3種類のだしを組み合わせることで、『だし感しっかり、後味すっきり』を実現しています。



サーモンポキ
(本体価格：298円)



ベビーホタテときゅうりの
キムチ和え
(本体価格：298円)



アボカドカット 500g冷凍

アボカドを一口サイズにして、サラダを始めとした様々なメニューに使用できる形にいたしました。



コク旨キムチの素 1kg

魚醤、ヤンニョム醬、蝦醤を使用したコクと旨みのあるキムチを作ることができます。

カップデリアイテムをおつまみとして訴求しましょう！

6月は銀鮭をメニュー訴求

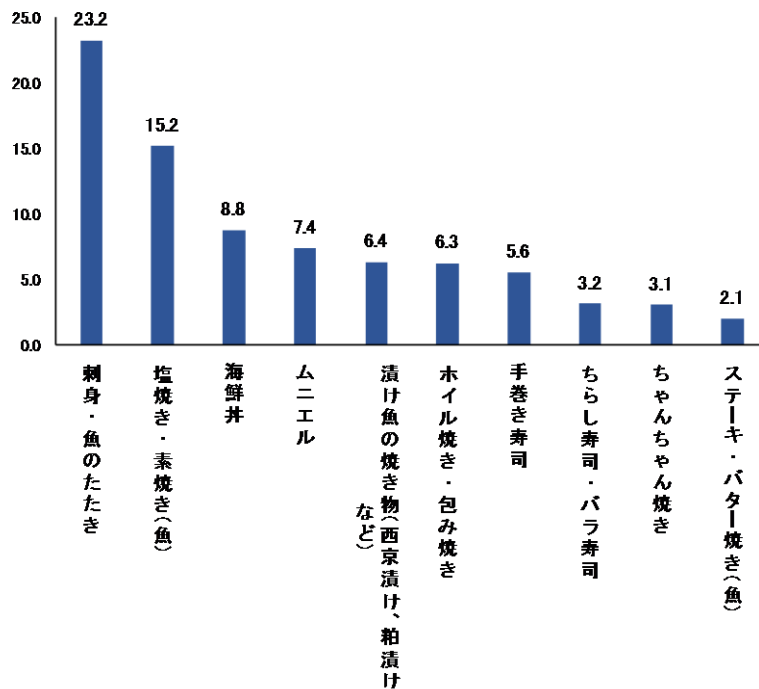
～塩焼き以外の食べ方を提案～

●企画主旨

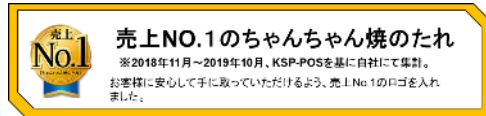
春～初夏に旬を迎える銀鮭。骨なし、皮とりなどより簡単に調理できる原料も人気が高まっています。

売り場からさらに簡便さをアピールするために、人気メニューで訴求しましょう！

鮭は「焼き」メニューも人気



- ・数種類の味噌をブレンドし、コクと旨味のある味わい
- ・野菜がたっぷり食べられることをパッケージから訴求



ちゃんちゃん焼のたれ 150g

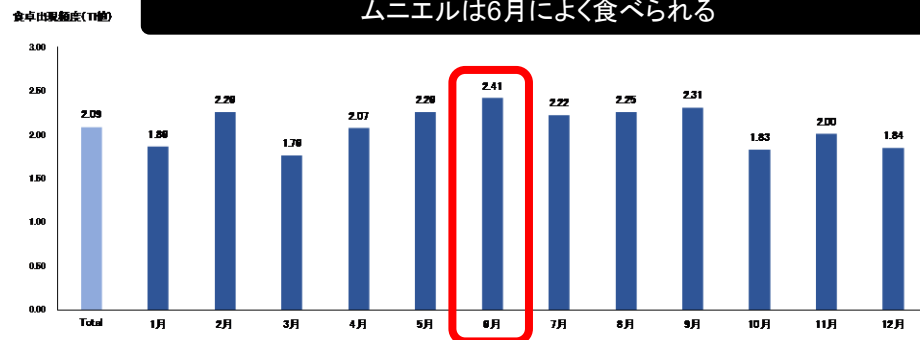


まぶして焼くだけで
ふっくらムニエル

爽やかなハーブの香りとほのかかな
バター風味が鮭の美味しさを
引き立つ

ムニエルつくろ70g

ムニエルは6月によく食べられる



●結論

塩焼きでも美味しい銀鮭ですが、簡単にできる人気メニューで訴求し、買い上げ点数を伸ばしましょう！

人気メニューで提案し、日々の買い上げ点数アップにつなげましょう！

(株)インタージ「キッチンダイアリー」より(2025年)

(株)インタージ「キッチンダイアリー」より(2025年)

☆☆鮮 魚☆☆

★カツオ★

現在のところ、鹿児島・宮崎・高知・千葉方面からの入荷が中心となり、和歌山のケンケン漁は 1.8～1.5kg/尾の小サイズ中心で入荷はまちまちです。鹿児島・宮崎方面が 2 本 4.5～2.0kg、3 本 5.0kg 前後、千葉は 1 本 2.8～2.5kg での入荷が中心となります。6 月もこの状況は続くと思われ、鹿児島・宮崎・高知・千葉各地からの順調な入荷となり、宮城(気仙沼)も始まる見込みです。入荷量は昨年並で、相場も脂の乗り次第ですが昨年並か強含みで推移すると思われ。小型サイズは冷凍、加工の指値が入っており、底堅いものになるでしょう。

[6 月予想相場]カツオ

産地	規格	予想相場(円/kg)
高知	4.0～3.0kg/尾	2,000～1,500
	2.5～2.0kg/尾	1,600～1,300
鹿児島・宮崎	2.0～1.7kg/尾	800～ 550
千葉	3.0～2.5kg/尾	1,800～1,500

★メイタガレイ★

現在のところ、宮城を中心に、青森・兵庫(淡路)・大分・福島方面から順調な入荷が続いています。6 月に入りましても、引き続き、宮城・福島・兵庫(淡路)・大分他からの入荷が見込まれます。入荷量、相場共に昨年並で推移すると思われ。鳥取(境港)を中心に小型底曳網漁も解禁となり、ナガレメイタガレイ(バケメイタ)も入荷が始まりますが、地場消費が中心となる見込みです。

[6 月予想相場]メイタガレイ

種類	規格	予想相場(円/kg)
鰯物	200gUP/尾	2,000～1,700
	150g 前後/尾	2,000～1,700
	100g 前後/尾	1,250～ 700
	100g 以下/尾	1,000～ 400

★サワラ★

現在のところ、瀬戸内のお荷が終わり北陸方面(福井・富山)の定置網の水揚げが不安定ですがお荷の中心となります。サイズは 3.0～2.0kg/尾サイズ中心になっています。サゴシは北陸(石川・富山)方面中心ですが水揚げ、お荷共に少なめとなっております。6 月に入っても産地は変わらず、卵が抜け 1 kg前後主体となりお荷量は低調な状態が続く見込みです。相場は昨年並で推移すると思われ。国内物がある事や、為替の影響もあり、韓国産のお荷は見込みがほとんどありません。

[6 月予想相場]サワラ・サゴシ

産地	規格	予想相場(円/kg)
国内各地	2.0kgUP/尾	2,000～1,200
	2.0～1.5kg/尾	1,500～ 800
	800～600g/尾	1,000～ 600

★タチウオ★

現在のところ、大分・鹿児島中心のお荷となります。全国的に水揚げは見えますが、不安定な状況が続く、相場も強含みで推移しています。長崎の釣物も相場高が続いております。6 月に入りましても大分・鹿児島中心のお荷になる見込みです。サイズは既に大きめで、水揚げは昨年よりは多い見込みですが高値で推移する見込みで、お荷量は少なめで推移すると思われ。韓国への輸出も今後の相場に影響するものと思われ。

[6 月予想相場] タチウオ

規格	予想相場(円/kg)	
	釣物	網物
1.0kgUP/尾	6,000～1,000	6,000 中心
800g 前後/尾	5,000～1,000	5,500 中心
500g 前後/尾	4,000～1,000	5,000 中心
300～200g/尾	3,000～1,000	4,500 中心

★サヨリ★

現在のところ兵庫(淡路)・愛知の入荷が主体となります。6月に入りますと、兵庫(淡路)からの入荷は終わり、愛知中心の入荷となる見込みで、サイズも徐々に大きくなりますが品質は今一つです。ハイシーズンを終えて需要は落ち着き、入荷量、相場共に昨年並で推移する見込みです。韓国産は産卵期に入り、漁は終了します。入荷量、相場共に昨年並で推移すると思われます。

[6月予想相場]サヨリ

産地	規格	予想相場(円/kg)
鳥取・愛知 他	100～80g/尾	5,500～3,000
	80～60g/尾	3,500～2,000
	50～30g/尾	1,200～400

★赤舌ビラメ★

現在のところ、水揚げのピークから徐々に減少傾向に向かっています。6月に入りますと、熊本方面からの入荷が中心となり、水揚げは更に減少して行くと思われます。入荷量は例年並、相場は強含みが続くでしょう。

[6月予想相場]赤舌ビラメ

規格	予想相場(円/ケース)
300～200g/尾	3,800～3,200
180～140g/尾	2,800～2,300
130～100g/尾	1,300～1,000

★タラフィーレ★

現在のところ、北海道からの入荷が主体となります。大型サイズ中心となり水揚げはかなり少なく、冷凍原料も不足しているため、相場は高値で推移しております。これから徐々に水揚げが減少していき、6月に入りますと沖合底曳網漁が8月迄禁漁になる事から生産量は減少します。水揚げ不足から入荷量は昨年より少なめで、相場も強含みで推移すると見込んでいます。夏場に向けて、ムニエル等の需要により皮無しが入荷の中心となります。

[6月予想相場]タラフィーレ

種類	産地	サイズ	予想相場(円/kg)
フィーレ	北海道	5.0kg 4～8入	1,600～1,500
皮無しフィーレ		3.0kg 4～8入	1,600～1,500

★カマス★

現在のところ、九州(宮崎・長崎・大分)方面から200～100g/尾サイズの入荷があり200g/尾サイズは1200円/kg前後、100g/尾サイズは800円/kg前後で推移しています。入荷は始まったばかりで、6月に入っても九州方面からの入荷が主体となる見込みです。入荷量は例年並の順調な入荷が見込まれ、相場は諸経費の高騰から、底堅いものになると思われます。これから秋の旬に向けて徐々に数量が増えてくる魚です。

[6月予想相場]赤カマス

種類	規格	予想相場(円/kg)
釣物	3kg 15入(250～200g/尾)	1,500～1,000
網物	3kg 15入(250～200g/尾)	1,200～800

★キス★

現在のところ大分中心、熊本・兵庫他から入荷があります。6月はシーズン入りということもあり、兵庫(淡路)、熊本、大分に加えて、長崎の網物の入荷も見込まれます。長崎は昨年同様入荷が安定せず、相場も強含みで推移すると思われます。他産地は入荷量、相場共に昨年並で推移する見込みです。上品な味わいのする白身魚で、天ぷらに最適です。

[6月予想相場]キス

産地	規格	予想相場(円/ケース)
熊本・大分 ・兵庫他	2.0kg 21～29入	10,000～8,000
	2.0kg 30～39入	9,000～5,500
	2.0kg 40～45入	4,000～3,000
長崎	3.0kg 各サイズ	5,000～2,500

★メバル★

現在のところ、メバル(ウスメバル)は石川(輪島)・青森・秋田・新潟中心の入荷でサイズも順調です。6月に入りましても、日本海側を中心に引き続き順調な入荷が見込まれます。入荷量、相場共に例年並ですと思われるます。クロメバルは現在のところ、青森、福島、宮城方面からの入荷が中心で、相場は2,000～1,000円/kgで推移しています。6月の入荷も産地は同様で、広島・岡山は地場消費が中心となるでしょう。こちらも例年並で推移すると思われるます。

煮物、焼き物、お造りの旬魚としてオススメです。

[6月予想相場]メバル

種類	規格	予想相場(円/ケース)	
		釣物	網物
ウスメバル	3.0kg 6～8入	5,500～4,000	4,500～3,500
	3.0kg 9～13入	5,500～4,500	5,000～4,000
	3.0kg 14～18入	5,500～4,500	5,000～4,000
	3.0kg 20～22入	4,000～3,000	4,000～3,500
	3.0kg 23～26入	3,500～2,000	3,000～1,500
クロメバル	3.0kg 6～13入	1,500～800	1,500～800

★マナガツオ★

現在のところ、愛媛中心の熊本・兵庫他からの入荷となり、入荷量は昨年より少なめで推移しています。6月に入りますと、熊本、瀬戸内(岡山、兵庫)、和歌山等からの入荷も加わり入荷量は増えてきます。ハイシーズンとなり、サイズも出揃う時期ですが、輸出向けの引き合いも強まってきており、入荷量は減少傾向で、相場は昨年よりも強含みで推移する見込みです。

[6月予想相場]マナガツオ

産地	規格	予想相場(円/kg)
熊本・愛媛・瀬戸内他	1.5～1.0kg/尾	5,000～3,500
	900～300g/尾	3,000～2,000

★タコ★

現在のところ、昨年並の水揚げが続いており、兵庫(淡路)方面を中心に2.0～1.5kg/尾サイズ2,800～2,600円/kg、1.3～1.0kg/尾サイズ2,500～2,200円/kg、1.0kg/尾以下2,000円/kg中心と強含みで推移しています。6月に入りますと兵庫(淡路)、香川等、瀬戸内方面に加え、福井からも入荷が見込まれます。昨年同様、入荷量は厳しい状況が続き、昨年並で推移すると思われるます。小タコに関しても同様で梅雨入り以降の状況次第といったところです。相場は水揚げが少ないことに加え、輸入物の状況も良くない事から、昨年並の強含みで推移する見込みです。冷凍相場で底値はしっかりしてくるでしょう。

[6月予想相場]タコ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
タコ	兵庫(淡路)・香川・福井	1.5kg/尾	2,800～2,400
		1.0kg/尾	2,500～2,200
小ダコ		500～100g/尾	2,000

★養殖銀鮭★

現在のところ、宮城県の石巻、女川、志津川方面からの入荷が中心となり、成育はまずまずといったところです。各サイズ入荷があり、5.0kg7～9枚サイズは1,600円/kg前後、10～13枚サイズは1,500～1,400円/kgと冷凍用の引合いはありますが例年並の相場で推移しています。6月に入りますと徐々に大きくなり、冷凍向けの引合いが更に強くなることが予想されます。5.0kg5～8枚サイズ中心となり、国産の生食可能な生鮮鮭は需要が高いですが、チリ産の入荷も多く相場は1,500円/kgと例年並の相場で推移すると思われるます。入荷量も昨年並を見込んでいます。在池量は昨年並ですが、夏場の水温上昇に対する不安感もあり7月中の水揚げで終了する見込みです。

★養殖アトランティックサーモン★

現在のところ、カナダ中心の入荷となっています。現在も順調な入荷が続いていますが、カナダの在池が減少傾向にあり、チリの出荷もあり相場は

安定傾向か弱含みで推移しています。6月に入りますとノルウェーの新物の入荷も始まります。在池量も安定しており、入荷量も昨年並に落ち着いてくると思われ、相場も落ち着き、昨年より弱含みで推移すると思われ。フィールの入荷はチリ主体となる見込みです。

[6月予想相場] 養殖アトランティックサーモン

産地	種類	規格	予想相場(円/kg)
カナダ	SD	6.0~5.0 kg/尾	1,900~1,700
		5.0~4.0 kg/尾	1,900~1,700
ノルウェー	SD	6.0~5.0kg/尾	2,000~1,800
		5.0~4.0kg/尾	1,900~1,700
	フィーレ	6.0kg 4枚入	3,600~3,000
チリ	SD	6.0~5.0 kg/尾	2,000~1,800
		5.0~4.0 kg/尾	1,800~1,700
	フィーレ	14 kg 12入	2,600~2,500

★ハモ★

現在のところ、一時見えた釣物の入荷が落ち着き、入荷は例年並の状態です。愛媛・香川・徳島・兵庫(淡路)方面から釣物を中心に入荷が見込まれ、6月頃から大分や山口で底曳網漁が始まります。水温上昇に伴い、水揚量も増えて最盛期(6~8月)に入っていきます。入荷量は昨年並、相場も昨年並を見込んでいます。ハモは、梅雨を吸って大きくなると言われ「梅雨鱧」という言葉もあります。これからの暑い時期には栄養たっぷりのハモが夏バテ防止にもピッタリです。

[6月予想相場] 活ハモ

産地	規格	予想相場(円/kg)
国内(活ハモ)	2.0~1.0 kg/尾	3,000~ 200
	1.0kg~250g/尾	5,000~ 400
	250~150g/尾	1,500~ 200

★アワビ★

【天然アワビ】徳島中心の長崎・日本海(山口・島根・鳥取)兵庫・他各地からの入荷が見込まれます。三陸(宮城・岩手)は在池が終了したとのことです。水揚量の減少傾向が続き、また関東の引き合いが強い事から、相場は強含みで推移しています。入荷量は少なく、相場は高値で推移する見込みです。特に300gUP/個の大型サイズが少ない事から強含みが見込まれます。

【養殖エゾアワビ】韓国産の養殖エゾアワビは、現在のところ、荷動きが落ち着いており、在池量の余裕から相場も落ち着きを見せています。入荷量は昨年並を見込んでおり、相場は昨年より安値で推移すると思われ。養殖である事からサイズ選別がきちりしており、売価設定がしやすく、小型サイズはバーベキュー商材におすすめです。

[6月予想相場] アワビ・養殖エゾアワビ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
アワビ	徳島・山口 長崎他	300gUP/個	35,000~13,000
		300~200g/個	25,000~10,000
		200~100g/個	11,000~ 4,000
養殖 エゾアワビ	韓国	150g 中心	5,500~ 3,500
		100gUP/個	4,500~ 3,000
		100g 以下/個	3,500~ 2,500

★養殖ハマチ★

現在のところ、高知主体の新物の入荷となっています。3.0kg/尾サイズ前後で、在池量は潤沢です。入荷量は例年並の順調な入荷を見込んでおり、相場も先月並の1,900円/kg中心で推移すると思われ。モジャコの採捕は現在のところ見通しが悪く、来年以降の供給に注意が必要となる見通しです。

★養殖ブリ★

現在のところ、鹿児島、高知方面から新物 4.0～3.0kg/尾サイズが入荷しています。在池量は潤沢で、入荷量は昨年より多く、相場も例年並で推移すると思われます。6月以降、赤潮の発生も懸念されており、今後の動向に注意が必要です。

[6月予想相場]養殖ブリ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
ラウンド	大分・高知・ 鹿児島	4.0～3.0kg/尾	1,800～1,600
フィーレ		5.0～4.0kg 4枚入	2,700～2,500
		7.0～6.0kg 6枚入	2,650～2,500

★天然マダイ★

【活物】瀬戸内(兵庫(淡路)・愛媛・香川・広島・岡山)を中心に、昨年並の水揚げが続いております。6月頃まで卵抜けからサイズの低下は見られながらも同様の状況が続く見通しですが、7月頃から水揚量は、表層の水温上昇や産卵期が終わりを迎える事により魚群が深みに戻り、不安定になる見込みです。入荷量、相場共に昨年並で推移すると思われます。

【〆物】【網物】現在のところ、吾智網の九州(長崎・福岡)、底曳網の島根(浜田)方面からの入荷が中心となっておりますが、5月後半より順次操業が終了する見込みです。サイズは1.0kg/尾サイズ中心となっております。5月に入り、産卵期に向けて水揚げはまとまってくるシーズンです。例年通りに水揚げがあれば相場も比較的安定してくると思われます。又、加工向けの買いも入ってきており底堅い状況が続きます。入荷量、相場共に例年並で推移すると思われます。

【〆物】【定置・釣物】瀬戸内(愛媛・広島・岡山・兵庫)方面を中心に順調な入荷が見込まれます。現在のところ各地共に定置網を中心に水揚げが順調な事から、1.0kg～500g/尾サイズを中心に安定入荷しています。この傾向は6月も続くと思われ、入荷量、相場共に昨年並にて推移すると思われます。

[6月予想相場]天然マダイ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
活物	瀬戸内各地	3.0～2.5kg/尾	3,500～ 500
	愛媛・香川・広島	2.5～1.5kg/尾	3,500～ 500
	岡山・兵庫他	1.0kg 前後/尾	3,500～ 500
〆物	長崎・山口 島根・鳥取他	1.5～1.0kg/尾	1,000～ 750
		0.8～0.6kg/尾	1,000～ 600
		0.6～0.5kg/尾	800～ 500
	瀬戸内各地 愛媛・広島・岡山 淡路(兵庫)他	1.5～1.0kg/尾	1,000～ 500
		0.8～0.6kg/尾	1,000～ 500
		0.6～0.5kg/尾	1,000～ 500

★養殖マダイ★

愛媛主体の、熊本、高知、和歌山方面からの入荷となります。各サイズ揃っており(1.6kg/尾サイズ中心)、全体の在池量は潤沢に推移しているものの、相場高から販売数量の伸び悩みは続いており、引き続き厳しい状況が続いています。入荷量は昨年並、もしくはやや少なめと思われ、諸経費全般の高騰もあり、相場は昨年並の底堅いものになるでしょう。6月は産卵も終わり、安定期に入ります。身がやや痩せる事もありますが、養殖物には大きな影響は受けないでしょう。稚魚の導入は例年並を見込んでいます。

[6月予想相場]養殖マダイ

規格	予想相場(円/kg)
1.8kgUP/尾	1,400～1,150
1.7～1.5kg/尾	1,400～1,150
1.4～1.2kg/尾	1,400～1,150
1.1～0.8kg/尾	1,400～1,150

★養殖スズキ★

愛媛からの入荷が中心となります。中心サイズは成育遅れから、引き続き1.5kg/尾サイズ中心と小型中心で推移すると思われます。在池量は少な

った昨年より少ない上状況が厳しく、入荷量は集荷努力から昨年並を見込んでいますが、相場も 1,900～1,750 円/kg と昨年より強含みを見込んでいます。需要期の 7～8 月になりますと在池量も薄くなることから、相場は更に強含みで推移する事が予想されます。成育が難しく、効率も悪い事に加え、生産者も減少している事から今後の動向に注意が必要です。

★養殖ヒラメ★

【国産】鹿児島中心の大分・長崎方面他からの入荷が中心となります。摂餌も順調な事から成育も良好で、品質の向上も見込めます。中心サイズも 1.6～0.7kg/尾と各サイズ揃っています。在池量は高水温の影響もあって終了が早まるかもしれません。入荷量は昨年並を見込んでおり、相場は諸経費の高騰もあり、昨年よりやや強含みで推移すると思われる。

【韓国物】在池量は昨年並で推移しています。サイズは 1.5～1.0kg/尾と各サイズ揃っており、入荷量は昨年並を見込んでいますが、相場は、保合いで推移すると思われる。

[6月予想相場]養殖ヒラメ(国産・韓国産)

規格	予想相場(円/kg)
1.0 kg/尾中心	2,700～1,000
800 g/尾中心	2,400～1,000
600 g/尾中心	2,100～ 800
500 g/尾中心	2,100～ 800

★養殖カンパチ★

鹿児島、宮崎、愛媛、高知中心の入荷となります。成長は例年並で順調で、3.5kg/尾サイズが中心となります。在池量、入荷量共に例年並で、相場は引き続き先月並の 2,400～1,900 円/kg と昨年並で推移するものと思われる。

★アユ★

【養殖アユ】

現在のところ滋賀・和歌山・岐阜の各地共に生育遅れは見られませんが入荷が始まっています。天然の解禁(6月1日)に合わせて各地共、出荷量は増え、本格的なシーズンになります。入荷量は少なく、相場は生産コスト上昇により昨年より強含みで推移すると思われる。小アユは滋賀、岐阜から入荷が見込まれます。地場消化が進んでいる事や大サイズまで育てる傾向にあり、入荷量は昨年より少なめで推移すると思われる。

【天然アユ】

6月に入りますと多くの河川で解禁されます。岐阜を中心の入荷となる予想で、相場は昨年並を予想しています。小鮎は琵琶湖(滋賀)からの入荷となり、相場は昨年並で推移するでしょう。入荷は散発的なものにとどまると考えられます。

[6月予想相場]アユ

種類	産地	規格	予想相場(円/ケース)
養殖アユ	各地	1.0kg 8～13 入	2,500～2,200
養殖小アユ	滋賀	300g 7～14 入	2,500～2,000
	岐阜	100g 10 入	600～ 500
天然アユ	各地	1.0kg 8～13 入	10,000～6,000 (円/kg)

★開きアナゴ★

韓国主体の入荷となります。現在燃料関係で入荷が安定しておらず、入荷量は少ない見込みです。45cm 前後の大型サイズが中心となっています。相場も昨年より強含みで推移すると思われる。国産は長崎の活メの入荷が中心となります。水揚げはやはり例年並と思われ、相場は 2.0kg20～30 入で 3,000 円/kg 中心と昨年並を見込んでいます。夏から秋にかけて脂がのり旬を迎えます。

[6月予想相場] 開きアナゴ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
開きアナゴ (天然)	韓国	2kg入 31/35 cm	1,800 中心
		2kg入 36/40 cm	
		2kg入 41/45 cm	

★アサリ★

現在のところ、愛知（渥美半島）の前浜物は期待薄です。三河湾のポンプ漁も同様に水揚げが少なく、三重の畜養ができない状況です。こちらにも入荷量は少なめで推移すると思われます。北海道物の水揚げは安定しており、入荷量は昨年並で相場も安定すると思われます。6月から中国産から切り替わる韓国産の見通しはまだ立っておりません。アサリの旬は晩春から夏にかけて、産卵期に向けて栄養をたくさん蓄えておいしい時期です。実入りの良い時期ですので、定番の貝汁、酒蒸しの他にも、むき身にしてワケギやぬた和え、卵とじにもお勧めです。

[6月予想相場] アサリ

産地	規格	予想相場(円/kg)
愛知	特大	3,000 中心
	大	1,800 中心
三重	中	1,400 中心
北海道	大・中	1,500~1,200

★車エビ★

【養殖物】沖縄中心の宮崎からの入荷が中心となります。中心サイズは 30~25g 前後で、各サイズ揃っております。在池量、入荷量共に例年並の見込みです。相場は去年より弱含みで推移しています。6月も相場はこの傾向が続くと予想しております。夏場のシーズンに向け、7月以降は鹿児島、熊本方面の新物の入荷にも期待です。

[6月予想相場] クルマエビ

産地	種類	規格	予想相場(円/kg)
沖縄・宮崎他	養殖	50~40g/尾	12,000 中心
		30g 中心/尾	9,000 中心
		25g 中心/尾	8,000 中心
		20g 中心/尾	8,000 中心

★シジミ★

引き続き、島根（宍道湖）中心の入荷となります。一部、漁獲を再開した三重方面からの入荷も見込まれます。安定した水揚げが見込まれ、入荷量相場共に昨年並で推移すると思われます。ヤマトシジミは、夏の産卵期が美味しい時期で、土用の丑のある7月が入荷のピークとなります。

[6月予想相場] シジミ

産地	サイズ	予想相場(円/kg)
島根（宍道湖）	大	1,000 中心
	中	900 中心
	小	800 中心
三重	2L	900~800
	L	700 中心
	M	600~500
	S	400~300

★レンコダイ★

現在のところ、島根（浜田）方面から底曳網物の入荷が5月中に終了します。主力の長崎の底曳網が5月のGW前後から休漁期に入り（~8月）、順に休漁期に入っていく事から（山陰 6~8月、北陸 7~8月）入荷量は減少してきます。釣物は長崎・徳島中心となりますがまとまった水揚げがありません。網物は九州方面（福岡・山口）の吾智網からの入荷となります。入荷量は現状より減少する見込みで、相場は強含みで推移すると思われます。

[6月予想相場]レンコダイ

種類	規格	予想相場(円/kg)
釣物	600～500g/尾	1,200～ 750
	400～300g/尾	1,200～ 750
網物 (吾智網)	600～500g/尾	900～ 600
	400～300g/尾	900～ 600

★イワシ★

現在のところ、大中羽は富山中心の鳥取(境港)の水揚げとなり、中小羽は富山中心、石川の日本海側で水揚げされています。例年通り5月から太平洋側の水揚げに移り変わっていき、6月には日本海側の水揚げは終了するでしょう。6月に入りますと大中羽は九州(鹿児島・長崎)方面、中小羽は太平洋側中心となり、千葉からの入荷が主体となります。これから入梅イワシの時期に入り、例年並の水揚げが見込まれ、良品への期待が高まります。平子は高知方面で出漁がありますが、近年同様の少量の入荷に留まると思われる。大中羽、中小羽共に入荷量は例年並を見込んでおりますが、相場は資材・燃料高騰の影響が顕著でかなりの高値となります。

[6月予想相場]イワシ

種類	規格	予想相場(円/ケース)
大中羽	4.0kg入(約100～80g/尾)	3,000～2,500
中小羽	3.0kg入(約50～30g/尾)	1,000～900

★アジ★

【平アジ】

(巻網物)現在のところ、九州(長崎・佐賀)方面の300～250g/尾サイズの入荷が安定しており、順調に推移しています。三重の中型巻網は今年の水揚げは見えづらい状況です。6月に入りますともこの傾向は続くと思われ、九州方面は6月下旬にかけてサイズダウン(250g/尾前後)が予想されます。水揚げは昨年並を見込んでおり、入荷量、相場共に例年並で推移すると思わ

れます。

(定置物)現在のところ徳島・高知・和歌山・三重方面から500～400g/尾サイズ中心の散発的な水揚げが継続しています。6月も入荷量・相場共に安定しており、例年並と思われます。

【丸アジ】現在のところ、愛媛・高知の250～220g/尾サイズ、長崎・宮崎の200～180g/尾サイズの水揚げが散発的にありますが、品質はいまひとつです。九州(長崎、佐賀、福岡)方面の巻網物は小型サイズ中心となります。6月に入りますと長崎・兵庫(播州)の漁がスタートし、入荷の中心になっていくでしょう。和歌山の巾着物は見込めません。入荷量、相場共に昨年並を見込んでいますが、諸経費の高騰により底堅い相場で推移すると思われる。

【小アジ】現在のところ、四国(高知)方面の定置物、三重の巻網物中心で水揚げは不安定ながらも順調な入荷となっております。相場も700～600円/ケースと安定しています。6月も四国(高知)・三重・富山方面からの順調な入荷が見込まれ、相場も現状と保合いで推移すると思われる。

【豆アジ】高知、徳島の四国方面から水揚げがあります。1.5kg1,200円/ケース前後で推移しています。6月に入りますと四国(高知・徳島)を中心に水揚げは増えてくると思われ、相場も保合いとなるでしょう。

[6月予想相場]アジ

種類	産地	漁法	規格	予想相場(円/kg)
平アジ	長崎・佐賀・福岡	巻網	400～300g/尾	1,300～ 500
			300～250g/尾	900～ 500
	京都・福井	定置網	400～300g/尾	1,800～ 600
丸アジ	長崎・佐賀・福岡・高知	巻網	400～300g/尾	800～ 400
			300～200g/尾	600～ 300
	長崎・兵庫	巾着網	250～200g/尾	400～ 300
			200～180g/尾	400～ 300
小アジ	三重・高知他		2.0kg80～60g/尾中心	650～550円/ケース
豆アジ	高知・徳島他		1.5kg30～20g/尾	1,200円/ケース 前後

★サバ★

【マサバ】

(巻網物)現在のところ、九州(長崎・佐賀・福岡)方面は 800~500g/尾サイズ中心、鳥取(境港)方面は 500g/尾サイズの水揚げとなっており、共に鮮度良好ですが、各産地とも産卵後で品質はいまひとつです。6 月に向けて徐々に水揚げは減少していく見込みです。

(定置物)日本海(石川・富山)方面で600~450g/尾サイズが揚がっていますが、まだ品質は維持しています。水揚げも安定しており、6 月の入荷の中心になると考えられます。総じて入荷量は昨年並を見込んでおり、相場は高値で推移すると思われます。7 月に入りますと例年であれば三陸(宮城他)・千葉(房州)・静岡方面の水揚げが始まる見込みです。今年はまだ事前情報が入ってきておりませんので、今後の動向に注意が必要です。

【ゴマサバ】例年見られる、三重・静岡方面の水揚げは 500g/尾サイズ中心で少なく、鹿児島島の 800~700g/尾中心の巻網物が入荷の中心となっています。脂が抜けている為、加工向けの買いが強く、浜高が続いています。6 月に入りますともこの傾向は続くと思われます。水揚げは年々不安定な傾向にあり、浜も高い傾向ですが、集荷努力で入荷量は例年並で推移すると思われます。相場も高値で推移すると思われます。

[6 月予想相場]サバ

種類	産地	漁法	規格	予想相場(円/ケース)
マサバ	九州・三重日本海	巻網 定置網	4.5kg 8 入	3,000~2,500
			4.7kg 10 入	2,500~2,000
ゴマサバ	鹿児島・高知他	巻網	5.0kg 8 入	2,500~2,000
			5.0kg 10 入	2,000~1,500

★イサギ★

現在のところ、釣物は九州(福岡・長崎)方面、網物(刺網・定置網)は三重・和歌山方面からの入荷があります。現在のところ水揚げは例年より多めで推移しています。相場は網物 500gUP/尾サイズ 1,600~1,500 円/kg 中心、

300g/尾サイズ 1,300~1,200 円/kg で推移しています。釣物は 500~300g が中心で、相場は 2,000~1,200 円巻網物はまだ水揚げは少なめですが 6 月には安定するでしょう。6 月に入りますと、釣物は長崎・五島(小値賀・宇久)方面を中心に、巻網、刺網物は長崎(五島・佐世保・松浦)、島根、福岡を中心に、太平洋側では徳島や高知などから入荷が見込まれます。全体的に品質も安定して脂ものり、500~300g/尾中心で安定入荷が見込まれます。入荷量、相場共に例年並で推移すると思われます。

[6 月予想相場]イサギ

種類	規格	予想相場(円/kg)
釣物	500~400g/尾	2,000~800
	300~250g/尾	1,800~800
網物	400~300g/尾	1,200~600

★スルメイカ★

現在のところ、釣物は長崎(壱岐、対馬)、山口(特牛、湊)方面の水揚げが増えてきていますが安定しません。サイズは 20~25 入中心の為、関東中心の相場で動いており、強含みで推移しています。今年富山(氷見)の定置物は水揚げがないまま終漁に向かっており、5 月中旬には終わる見込みです。6 月に入りますと、例年ならば、兵庫(但馬)、北陸(福井、石川)方面、新潟、山形の日本海からの釣物の入荷が徐々に増えてきますが、現在のところは目途が立っていません。新スルメイカが旬を迎え、サイズは 25~30 入とバラ立ての小型主体の入荷が見込まれます。今後の水揚げに期待したいところです。入荷量は昨年よりさらに少なめと思われ、相場は高値であった昨年より強含みで推移すると思われます。

[6 月予想相場]スルメイカ

種類	規格	予想相場(円/ケース)
釣物	4.5~4.0 kg 25 入	8,000~6,000
	3.5 kg 中心 30 入	7,000~5,000
	3.5 kg 中心 40 入	5,500~4,000
	4.5~4.0 kg バラ	6,000~4,500

★ケンイカ★

現在のところ、長崎(壱岐・対馬)、山口(特牛・湊)方面中心の水揚げとなりますが順調とは言えず、相場もかなり強含みで推移しています。規格は2立~2半中心となっており、3立以下は少ない入荷となっています。6月に入りますと引き続き、長崎(壱岐、対馬)、山口(特牛、湊)に加えて、島根(浜田)、鳥取(境港)からの入荷も見込まれます。冷凍品の在庫も枯渇状況にあることから相場は底固く、入荷量は昨年より少なめと思われ、相場は高値で推移すると思われま

[6月予想相場]ケンイカ

規格	予想相場(円/ケース)
2立(10~14入)	25,000~12,000
2半(16~18入)	17,000~10,000
3立(24入)	13,000~9,000

★マグロ★

【生鮮物】

○脂物

生鮮の脂物の入荷は国産養殖本マグロ中心となり、高知・三重・和歌山・鹿児島・長崎・大分・沖縄等の入荷となります。各地3年魚の60~40kg/尾サイズが中心で、各地在池量は少ない状況が続きます。入荷は継続しますが、6月以降の相場は高値で推移する見込みです。天然物の本マグロは、5月下旬より鳥取(境港)にて巻網漁がスタートしています。他、三陸(宮城)の巻網物の入荷も見込まれます。入荷量は例年並、相場は需要により強含みで推移する見込みです。また、インドマグロの入荷は南半球(オーストラリア、ニュージーランド)の中心となりますが、ニュージーランドの水揚げが減少傾向になります。6月の入荷量・相場共に例年並を見込んでいます。

○赤身

生鮮のキハダ、メバチの国内物は沖縄・宮崎・高知・和歌山の延縄物中心の入荷となります。夏場に向け、水温の上昇と共に品質はやや落ちる傾向にあります。入荷量・相場共に例年並を見込んでいます。輸入物の入荷はロイン製品主体となり、インドネシア方面が中心になるでしょう。水揚げは昨年同様、少なめで推移しており、入荷はほとんど見込めません。相場は高値で推移する見込みです。

【冷凍物】

○脂物

冷凍の脂物は静岡水揚げのインドマグロが主体となります。新物は現在入荷がなく、入荷量は減少し相場は強含みとなる見込みです。地中海の畜養本マグロに関しては、在庫はありますが高値で入荷の見通しが難しい状況です。

○赤身

冷凍のキハダ、メバチ共に静岡水揚げ、台湾・中国船籍物の入荷となりますが、原油高の影響により水揚げ見込みがなく停滞しております。6月になっても入荷は難しい状況が続くと思われま

☆☆塩 干☆☆

★しらす釜揚げ★

5月に入り愛知・静岡で順調な水揚げが続いており、入荷も増えて相場を押し下げています。これからの水揚げの状況次第ですが、兵庫・大阪・徳島・和歌山地区も水揚げがあれば順調に下がると予想されます

[6月予想相場] しらす釜揚げ

産地	規格	予想相場(円/kg)
徳島・和歌山・兵庫	木箱(段ボール)	1,600~1,200

★開物★

【真アジ】・・長崎をはじめ国内の水揚げ状況は若干ながら増えつつあるものの、鮮魚出荷が中心で加工原料の確保は難しい状況が続いており、韓国物を中心に加工・販売しておりますが、原料・製品ともに諸経費の高騰から相場は強含みで推移しております。

【カマス】・・九州・長崎をはじめその他地域での水揚げは安定せず、相場は強含みのまま推移しております。

【真ホッケ】・・日本海のトロール・定置網によって若干の水揚げはあるものの、サイズは100g前後と小さく加工には不向きなサイズです。一方噴火湾では小規模の定置網漁が始まりましたが、漁獲サイズは400gと大きく鮮魚出荷メインの為、加工用の確保が難しい状況です。

[6月予想相場] 開物

品名	原料	サイズ(g/枚)	予想相場(円/枚)
真アジ開	韓国・国産	200~ 80	350~100
カマス開	島根・長崎	250~ 80(品薄)	350~150
真ホッケ開	北海道	400~250(品薄)	320~200
サンマ開	台湾・国産	120~ 80(品薄)	250~100

★塩サバ★

加工原料も順次新物にかわり、製品の供給価格は国産・ノルウェーともに上昇しています。ノルウェー産は大型サイズ中心の組成の為、切り身も大型サイズで販売をお勧めします。

[6月予想相場] 塩サバ

産地	サイズ(8kg/尾数)	予想相場(円/ケース)
ノルウェー (加工地:銚子)	14尾入/(品薄)	18,000 中心
	16尾入/(品薄)	15,000 中心
	18尾入/(品薄)	15,000 中心
	20尾入/(品薄)	15,000 中心

★干しガレイ類★

浜田地区では5月の大型連休明けから、香住地区では5月末からそれぞれお盆明けまで禁漁になります、加工向けの原料不足は解消されないまま休漁になるので、相場は高値安定のまま推移すると思われます。

[6月予想相場] 干しガレイ

魚種	サイズ	予想相場(円/箱)
笹ガレイ子無し	2.0kg 10~18入(品薄)	6,500~4,000
水ガレイ	2.0kg 10~18入(品薄)	4,000~3,500
エテガレイ	2.0kg 10~18入(品薄)	3,500~3,000

★味付いくら★

状況に変化はありません。アメリカ・ロシアのチャム卵・マス卵のフリー在庫は殆ど無く、高値維持の為に荷動きの悪い状況が続いております。加えてメーカーは、次期原料搬入まで生産を控えている状況の為、市場に流通される製品も少なく、インバウンド需要も継続中の為、北海産の新物塩いくら・味付いくら共に高値継続の状況は変わらないと予

想されます。

[6月予想相場] 塩いくら・味付けいくら

種 類		予想相場(円/kg)
国内産(秋卵)	塩いくら(新物)	35,000~30,000
	味付けいくら(新物)	28,000~18,000
ロシア産(マス卵)	味付けいくら(ヒネ物・品薄)	12,000~ 9,000

★みりん干し★

【いわしみりん】・・原料となる片口いわしは、中東情勢の影響を大きく受け原料価格の値上げから製品価格も1割程度値上げになると予想されます。

【さばみりん】・・欧州原料は小型サイズの搬入が無くなり、原料相場はさらに強含みの状況が続くと予想され、国産の需要増加から国産相場も強含みで推移しております。国産原料はやや増加の見込みですが鮮魚需要が強く、加工原料手当ては難しい状況が続くと予想されます。

【ししゃもみりん】・・ノルウェー・アイスランド共に原料搬入が遅れていることから品薄状況になりつつあります。6月には新物原料からの製品が入荷されますが、500~400円/kgの値上げになるとの予想です。

[6月予想相場] みりん干し

魚 種	産 地	サイズ	予想相場(円/kg)
片口イワシ	千葉	2kg 80枚	3,200~2,800
サバ	国産(品薄)	各サイズ	1,900~1,500
アジ	タイ・ベトナム	各サイズ	2,200~1,900
ママカリ	タイ・ベトナム	各サイズ	2,100~1,800
シシャモ(品薄)	ノルウェー・アイスランド	各サイズ	3,400~3,200

★カツオのたたき★

中東情勢の影響から原料の搬入が少なく、相場は高騰を続けています。情勢が終結に向かっても、状況が落ち着くまで時間が掛かると予想され、製品相場が落ち着くまではまだまだ先と予想されます。

[6月予想相場] カツオたたき

	規格	予想相場(円/kg)
冷凍	B-1	2,000~1,800
	P-S	1,800~1,600

★辛子明太子・助子★

4月のロシア原料の最終入札が28日に釜山にて行われ、現在の原料相場はアメリカがやや下げに、ロシアは前年並みかやや上げの状況ですが、国際情勢からの資材の値上げから製品価格の値上げを打診してくるメーカーが出てきました。

[6月予想相場] 辛子明太子・助子

種 類	予想相場(円/kg)
塩助子	3,000~2,000
辛子明太子 上品	3,000~2,000
辛子明太子 並品	2,000~1,500

★塩紅鮭・塩時鮭・銀鮭★

今年の「日本ロシアさけ・ます漁業交渉」は3月19日に終了し、4月1日より操業が開始され、日本の漁獲枠は昨年と同じ2,050トンに決まりました。紅サケの水揚げはあるものの、時鮭の水揚げ殆ど無い状況です。

輸入紅鮭原料は、為替の影響とアメリカ・ロシア・ヨーロッパ共に国内での販売が好調なことにより、相場は高値で推移しております。加工原料についても確保は難しく、製品については各サイズの在庫はあるものの相場は強含みで推移しており、今後の北海道での時鮭・紅鮭の水揚げに期待がかかります。チリ産銀鮭については為替の影響で製品相場は高く、荷動

きはよくない状況が続いており、一部のメーカーから安価な投げ物が出る可能性もあるのではないかと予想されます。

[6月予想相場] 塩紅鮭

産地	サイズ(17.kg)	予想相場(円/kg)
ロシア	6尾入	3,200~2,900
	7尾入	3,000~2,700
	8尾入	2,800~2,500
産地	サイズ	予想相場(円/kg)
北海道	2.0~2.5 kg/尾	4,000~3,500

★丸干し★

5月に入ってもまとまった水揚げは見込めず、各地に於いて水揚げの遅れが続いております。原料の主要産地である九州(鹿児島・宮崎・大分)や四国(愛媛・高知・)では長期に亘ってまとまった水揚げがない状況が続いており、製品の供給が滞る状況が続いています。また諸経費の高騰もあり製品価格も強含みで推移しております。今後の状況の好転に期待したいところです。

[6月予想相場] 丸干し

種類・産地	規格	予想相場
ウルメ上乾	小(約9~10cm)	4,800~4,500 円/kg
	中(約11~12cm)	4,000~3,700 円/kg
ウルメ若干	15~10尾	220~ 150 円/本

★ちりめん★

各産地とも水揚げが本格的に始まり例年よりも増えそうな勢いです。品質はややサイズの大きい脂分のあるクリーム色のウルメイワシ系ちりめんの入荷となっております。4月後半になり徳島・兵庫(淡路)での漁が始まり水揚げ状況は安定した入荷が続いています。今後は愛知からの入荷にも期待がかかります。水揚げが増えたことから各産地とも在庫の少ない状況は改善に向かっており、相場は弱含みで推移すると予想されます。

[6月予想相場] ちりめん

種類	産地	予想相場(円/kg)
上品	各地	2,500 中心
並品	各地	4,000 中心

☆☆冷 凍☆☆

★冷凍エビ★

【養殖ブラックタイガー】

インド産に関しては冬場の気温が低い影響から粗放養殖玉の水揚げが遅れており、オファーが高値にてスタートしております。中心サイズの 16/20 が高値スタートで、国内相場との乖離が激しい状況です。日本側の希望価格とは値差が大きく、今のところはベトナムなど他国の加工原料向けで成約が進んでいる様子で、現地サイドの提示価格はかなり強気の状況です。

インドネシアでは現地の天候不良や稚えびの池入れ量の減少により、新規オファーが少ない状況になっております。現地価格は相変わらず高値なため、国内搬入量は限定的です。

国内市況に関しては現地価格が高いことや円安の影響で先物を買いき辛い状況です。国内現物もある程度コストが高いため、実需ベースでの荷動きになっています。

【養殖バナメイエビ】

インド産に関しては1回目の水揚げが始まっています。生産量は昨年比で横ばい並みとの見込みです。中国等の買いが弱く、オファー価格は安値のスタートになっていますが、今の浜値だと養殖業者の利鞘が少ない為、2回目の池入れ数量は少なくなると予想されます。

エクアドル産はむき原料などの需要により、一部中小型サイズで生産に遅れが出ているようです。16/20サイズ等は現地の気温が例年より高いことから、生育が良いため生産は順調な模様です。中国からの引き合いは弱い状況ですが、生産量が戻っていないため中小型は先月同様横ばいで推移しております。

国内市況に関して、各社逆ザヤ状態での販売が続いています。円安の影響から、現地オファーは安くても円価で計算すると安くない状況のため、各社先物の購入をためらっている模様です。

【アルゼンチンアカエビ】

各社ある程度持ち合っている状況です。北部漁場では今シーズンの操業を行うとの報告があり、すでに一部の船は漁に出ている模様です。EU中心に引き合いがあるようで、現地オファーは高値になっております。国内の消化状況は悪く、尚且つ現物との値差もそこまで無いため購入を見送るところが多いと思われます。

国内市況に関して、しばらくは実需ベースでの荷動きになっております。低調な荷動きではありますが、全体量は多いわけではないため価格は横ばいで推移しております。L-3は今回の漁でほとんど獲れていないようなので、9月頃まで品薄状態が続く見込みです。

[6月予想相場] 冷凍エビ ※1ポンド:約450g

種類	サイズ(1ポンドあたりの尾数)	予想相場(円/枚)
養殖BT (インド産他)	13/15	7,600~7,400
	16/20	6,600~6,400
	21/25(品薄)	6,200~6,000
	26/30(品薄)	5,800~5,600
	31/40(品薄)	5,200~5,000
養殖バナメイ (インド産他)	13/15	5,800~5,400
	16/20	5,100~4,800
	21/25	4,600~4,400
	26/30	4,200~4,000
	31/40	3,900~3,800
種類	サイズ(1kgあたりの尾数)	予想相場(円/kg)
アルゼンチン アカエビ	L1 (10/20)(品薄)	3,200 中心
	L2 (20/30)(品薄)	3,200 中心
	L3 (30/40)	在庫無し

★鮭 鱒★

【チリ産養殖銀鮭】

2月出船分までのチリ輸出統計が発表され、ドレス原料で76,646トン(昨シーズン比113%)、トリム製品で15,256トン(昨シーズン比95%)という結果になりました。ドレス原料については、先月同様に昨シーズンを上回るペースでの対日向け輸出が確認された一方で、各インポーターが高値玉を有していることもあり、相場は横這いから若干の弱含みでの推移となりました。トリム製品市況に関しては、国内在庫薄状況と統計上での対日向けの数量減を受けて、引き続き強含み推移となりました。6月の定塩製品については原料高製品安の構造は3月から変わっていません。上述の背景から6月の原料相場は横這いから若干の弱含み、トリム製品は横這いから強含みで推移すると予想されます。

【養殖トラウト】

4月の原料市況についても、大きな搬入もなく3月同様横這いでの相場展開になりました。トリム製品については国内在庫の不足感からトリムCの相場はやや強含み、トリムEは在庫の不足感はないものの堅調な荷動きで相場は横這いとなりました。6月以降の相場については、4月より新物搬入がスタートしましたが、搬入が限定的であることと、直近の為替の影響もあり、国内在庫が限定的なトリムCを中心に、原料・トリムともに横這いから強含みにて堅調にスタートするものと予想されます。

【紅鮭】

アラスカ・ロシア両産地ともに自国内及び欧州向けの需要が強く、対日搬入量が大幅な減少となっております。アメリカ産の日本向け成約は殆どなく、ロシア産が中心となりました。4月の原料市況も3月と大きく変わらず、実需ベースは高値横這いでの推移となりました。製品市況についても原料高に連動する形で上昇しており、6月以降もこの流れが継続するものと予想されます。

[6月予想相場] 鮭鱒

※1ポンド:約450g

魚種	サイズ(ドレス1尾あたり)	予想相場(円/kg)
紅鮭 (ロシア産・アメリカ産)	一級(2ポンド~4ポンド/尾)	1,600~1,500
	一級(4ポンド~6ポンド/尾)	1,800~1,700
	一級(6ポンド~9ポンド/尾)	在庫無し
トラウト(ノルウェー産)	2ポンド~4ポンド/尾	在庫無し
	4ポンド~6ポンド/尾	1,550~1,500
	6ポンド~9ポンド/尾	1,650~1,550
銀鮭(チリ産)	2ポンド~4ポンド/尾	1,300~1,200
	4ポンド~6ポンド/尾(品薄)	1,300~1,200
	6ポンド~9ポンド/尾	1,250~1,150

★ヤリイカ★

国産ヤリイカ・ケンイカの冷凍製品は品薄状態が続いておりますが、大型サイズについては、モロッコ産ヨーロッパヤリイカ原料のIQF建て替え製品を提案出来る状況です。

[6月予想相場]ヤリイカ/ケンサキイカ/ヨーロッパヤリイカ

種類	原産地	荷姿	サイズ	相場(円/kg)
ヤリイカ ケンサキイカ ヨーロッパヤリイカ	長崎県 山口県	5kg×2	16/20尾/5kg	在庫無し
			21/25尾/5kg	在庫無し
			26/30尾/5kg(品薄)	3,500中心
モロッコ	10kIQF 建替	GG(1kup/尾)	3,800中心	
		G(0.7~1.0kg/尾)	3,500中心	

★紋甲イカ★

スキンレス紋甲製品はスリランカ・パキスタン産・オマーン産で品揃えしており、品質については良品の商材です。東南アジアの紋甲イカ製品は現地燃油高騰の影響もあり搬入が少なくなると予想されます。

[6月予想相場] 紋甲イカ（スリランカ・パキスタン・オマーン等）

種類	荷姿	サイズ(g/枚)	相場(円/kg)
スキンレス 紋甲イカ	10kg/ケース	1 kg UP	4,500 中心
	5kg/ケース ×2	700～1,000g	4,500 中心
		500～ 700g(品薄)	4,300 中心
		400～ 500g	4,300 中心
		300～ 400g	4,200 中心

★スルメイカ★

国産船凍スルメイカについては、小型サイズが中心です。陸凍物については、トロール物の国内 IQF 立替商品で、大型サイズが有るものの、数量は限定的で相場は高値維持の状況です。ツボ抜きイカについては、スルメイカ・マツイカ両方とも相場はやや強含みの予想です。アルゼンチンマツイカ漁が禁漁となったため、ツボ抜き製品はサイズによっては欠品や品薄になると予想されます。

[6月予想相場]スルメイカ・マツイカ

種類	原産地	サイズ(8kg/箱)	相場(円/ケース)
船凍スルメ	石川県・青森県 他	36/40 尾/8 kg	14,500 円前後
		41/45 尾/8 kg	10,000 円前後
種類	原産地	サイズ(10kg/箱)	相場(円/ケース)
陸凍スルメ	三陸・富山県 長崎県	26/30 尾/8kg(品薄)	20,000 中心
		31/40 尾/8kg(品薄)	20,000 中心
種類	原産地	サイズ(尾/7.5 kg))	相場(円/ケース)
ツボ抜き スルメ	中国	40 尾/7.5 kg	11,000 中心
		50 尾/7.5 kg	11,000 中心

★ロールイカ★

国産ムラサキイカのロール製品の相場に変更ありません。中国産アメリカオオアカイカのロールイカの相場は、先月と同様横ばいです。

[6月予想相場] ロールイカ

種類	原料産地地	荷姿	サイズ(/5kg)	相場(円/kg)
ムラサキイカ	北海道・青森沖太平洋	5kg×2	8 尾	1,350 中心
	中国	5kg×2	10 尾	1,300 中心
アメリカオオ アカイカ	中国	5kg×2	36 尾	850 中心
			40 尾	850 中心
			50 尾	850 中心

★原料タコ★

アフリカ冬漁の対日向けの搬入は約3,500 トン程度の予測です。原料高の状況が続いているので消化量は低調です。北海道産原料も水揚げはよくありません。国産真蛸の水揚げがどれくらいあるかが注目されます。7 月 2 日の半夏生が控えており、販促については厳しい環境です。

★赤 魚★

太平洋原料の本格的なシーズンはまだ先ですが、一部入札が始まりました。昨年末より原料で 100 円/kgに近い値上げになっております。国内の製品・原料相場も急激に上がりつつあります。国内の原料搬入量も相当数少ない状況です。大西洋原料についても高値横ばいで、欧州・中国などの引き合いも依然として強いままで。アイスランド原料は品薄なため、国内の引き合いが強く、太平洋・大西洋ともにもう一段階価格が上がる見込みです。

[6月予想相場] 赤魚(大西洋)

規格(1 尾あたり)	荷姿	予想相場(円/kg)
700gUP(品薄)	7kgx3	950 中心
500g～700g(品薄)	7kgx3	800 中心

★カラスガレイ★

原料の水揚げ状況は悪く、中国の買付も高止まりしており、高いドル価で国内の品薄感が続いています。製品相場も急激に上がって来ております。国内加工メーカーも手持ち原料が少なく IQF ドレス・フィレともに軒並み急激【冷凍3】

な値上げの状況です。ただ国内 IQF 品の売りに関しては特売数量の減少などから落ち込んで来ていると思われます。

【6月予想相場】カラスガレイ(IQFドレス)

サイズ(kg/1尾あたり)	予想相場(円/kg)
0.5/1.0 (品薄)	1,750~1,700
1.0/2.0 (欠品)	1,850~1,800

★その他凍魚★

サワラに関しては他魚種に比べ単価の上げ幅が少なく、量販店向けからの引き合いが強くなっております。大西洋サバよりも安くて脂があるため、漬け魚や焼き魚向けにさらに販路を広げております。

大西洋サバについては来期の枠が 48%減で発表されているので、引き続き製品の値上げが続いております。国産サバに関しましても量販のメインアイテムとしてかなり引き合い強く、値上げ継続の状況です。

シルバーに関しまして今季の原料相場で 100 円/kg 以上の上昇となりましたのでそれに伴い製品価格の値上げを行っている状況です。

【6月予想相場】南方凍魚

魚種	予想相場(円/kg)
サワラフィーレ	1,450~1,300
サゴシフィーレ	1,150~1,050
シルバードレス	800 中心
サバラウンド 400/600g	900~ 850
サバラウンド 600gUP	1,000~ 950

★タラバガニ★

【アラスカ産】

今期の漁獲枠が少量の増枠発表を受けましたが、価格への影響は少なく昨年同様に高値横ばいの予想となっております。アメリカ国内での販売が主体となり、日本への搬入量はごく少量となる予想です。

【ロシア産】

極東産は中国の活需要が依然として強く、年々活物での輸出量が増加しています。活需要の影響により今期の冷凍品は殆ど生産の見込みがありません。バレンツ産は中国向けの活物輸送経路が確立しておらず、日本への搬入量は昨年同様になる見込みです。昨年より冷凍品の生産が増加していますが、台湾・ベトナム向け輸出が安定している為、相場が軟調になる見込みはありません。

【6月予想相場】タラバガニ:2026 年産予想相場(円/kg)

サイズ(3 kg製品)	生タラバガニ(米国)	生タラバガニ(ロシア)
6L	16,000	8,000 中心
5L	16,000	8,000 中心
4L	16,000	7,500 中心

★ズワイガニ★

【アラスカ産】

オピリオ種・バルダイ種共にアメリカ国内販売価格が高値で推移している為、日本国内の搬入量は少ないと予想されます。オピリオ種は、9 ドル/lbs、バルダイ種は 15ドル/lbsで推移しており、相場の高値維持により日本のマーケットは買い負けの状況です。

【ロシア産】

今期バレンツ海の漁獲枠は、前年比 40%増の原料ベース約 5,000 トンで操業を開始しました。韓国への活ガニ輸出経路の未確立・アメリカの禁輸政策の継続により、枠の半分が冷凍品として日本に搬入される見込みです。極東物は、昨年日本向け生冷品の過剰供給により、在庫が飽和状態です。従って、今期は生冷品減産・冷凍ボイル品主体の生産と予想されます。

【カナダ産】

ガルフにてオープニングコミュニティが開始されました。漁獲枠は約 16,000 トンと昨年比から 12%減少しております。4 月初旬から操業予定でし

たが、流氷の影響でやや遅れてスタートしています。ドル価は、5-8onz サイズで 10~11ドル/lbs、8-10onz サイズで 11.5~12ドル/lbs です。円価にして小型サイズは 4,000 円/kg前半、大型サイズは 4,000 円/kg後半の予想です。ニューファンドランドは 3 月末に価格が発表される予定でしたが、漁師とパッカーで浜値交渉の折り合いがついていません。現状、価格が決まらない為、昨年同様に操業開始が延長する見込みです。漁獲枠は 61,000 トンと昨年比 3%減と僅かに減少しています。どちらも米国への販売が主体となる為、日本への搬入量は少量の見込みです。

[6月予想相場]ズワイガニ:2025 年産物相場(円/kg)

サイズ	生ズワイ(ロシア)	ボイルズワイ(カナダ)
5L	4,700~4,500	在庫無し
4L	4,400~4,200	在庫無し
3L	4,400~4,200	5,200~5,000
2L	4,500~4,000	5,000~4,500

★ボイルホタテ★

現在市場では昨年製造されたものが 1,000 円台後半で推移しています。稚貝の生育不良が原因で今期の噴火湾水揚げ数量は昨年度の 6 割減と予想されています。また貝柱に比べ値ごろ感があることや BBQ 向け商材であることから引き合いが増えています。

[6月予想相場] ボイルホタテ

サイズ(粒数/kg)	国内産相場(円/kg)	
2L	16/20	2,200 中心
L	21/25	2,000 中心
M	26/30	2,000 中心
S	31/35	1,900 中心
2S	36/40	1,800 中心
3S	41/50	1,700 中心

★ホタテ貝柱★

今期のオホーツク水揚げ数量は昨年 26 万トンをさらに下回る 21 万トンと予想されています。漁場造成が 3 月よりスタートしましたが歩留まりは紋別 4.8%、枝幸 6%、沙留 5%で昨年度以上に小型化が懸念されています。

[6月予想相場]

サイズ	予想相場(円/kg)	
L	21/25	10,000 中心
M	26/30	9,000 中心
S	31/35	8,000 中心
2S	36/40	7,500 中心
3S	41/50	7,000 中心
4S	51/60	6,500 中心
5S	60/80	5,600 中心

★鰻蒲焼★

【中国産】

池上げ価格はジャポニカ種 58~43 元、ロストラータ種 50~45 元となりました。5 月搬入と遅れているジャポニカ種太物は現物無しで価格だけが先行し相場が下がっている状況です。一方ロストラータ種の太物はロシア向けの引き合いが強くなり高値維持の状況です。

[6月予想相場] 中国産鰻蒲焼(ジャポニカ種・ロストラータ種)

規格(尾数/10kg)	予想相場(円/kg)
25 尾	2,100 中心
30 尾	2,200 中心
35 尾	2,300 中心
40 尾	2,450 中心
45 尾	2,450 中心
50 尾	2,550 中心

【国産】

シラスの浜値価格が大暴落したことや池上げが進まなかった等の要因から、シラス池入れ数量は約 14トンで着地見込みとなりました。

また活鰻相場は 4 月に九州で 3P のみ下方修正がありましたが、製品価格に大きな変化はありません。しかしヒネ仔原料の安価な製品が出回ってきており品質には注意が必要です。

[6月予想相場] 国産活鰻相場

産地	サイズ(尾/kg)	予想相場(円/kg)
愛知	3P	2,800 中心
	4P	3,100 中心
	5P	3,300 中心
鹿児島	3P	2,700 中心
	4P	3,300 中心
	5P	3,500 中心